

平成25年度予算（案）の特色

一般会計

(予算編成方針)

平成25年度の経済状況については、今後の景気見通しにおいて、欧州各国における金融不安や中国等との政治的な課題等の影響により景気の動向について依然として不透明な要素はあるものの、昨年末の衆議院議員総選挙を受けた政権交代を経て新たに発足した内閣による大型の平成24年度第1号補正予算案が取りまとめられたこと等により急速に是正が進む為替相場や株取引等に見られるように、我が国経済の緩やかな持ち直しに向けた期待感が膨らみつつあるところです。

平成24年度における本町の町税収入においても、固定資産税については、評価替えおよび引き続き企業の設備投資が低調であることによる償却資産の減少等税収減が見込まれる一方で、町内企業の業績の回復に合わせて法人町民税が大きく伸びる見込みとなったことに加えて、個人町民税については地方税法の改正により微増となり、町民税全体で収入増となることを見込まれます。

また、歳出については、平成21年度以降の歳入増加および歳出見直しに向けた取り組みの実践、併せて平成21年度から平成24年度の4カ年において実施してきた町債の繰上償還により、本町の公債費および町債残高の縮減について一定の効果を上げる一方で、高齢化の進展等により福祉、介護、医療関係経費等の義務的経常経費が引き続き顕著な伸びを示していることに加えて、老朽化が著しい公共施設の改修が迫られているなど、今後においても引き続き多額の財政需要が想定される他、併せて歳入では前年度の法人町民税収が好調であったことを要因として、地方交付税における普通交付税および臨時財政対策債が皆減する見通しとなる等大幅な財源不足が見込まれる状況にあります。

このような中で、住民と行政との新たな役割分担について、本町の各施策への浸透を図る等これの実現に向けた環境の整備をはじめ、行政事務の一層の効率化に向けた取り組みの継続および可能な限り投資的事業等多額の財源を要する事業について、その実施計画の平準化および内容の精査を図った上で、それでもなお必要となる公共施設の維持修繕に係る建設事業費の増加に向けた対策として、特定目的基金への積立金の充実を中心とした財政構造の確立を念頭に、より一層効率的な行政の実現に向けて積極的に取り組んでいくことが求められているところです。

については、平成25年度の当初予算編成にあたって、引き続き財政の健全化に向けての方針を継承し、各所管部門において改革を確実に推進するものとします。

また、3年目を迎える第五次竜王町総合計画が目指す“まちづくりを担う人（定住人

口の増) ” に焦点を当てた施策および本町が掲げる 4 本の政策の柱に沿った事業に重点的に予算を配分するとともに、事業の選択と真に住民が求める施策への集中を図りつつ、町民の内発的な力を育む住民本意の「“ひと” 育ち みんなで煌めく交竜の郷」をめざして各施策を具体化させるものとします。

《竜王町が掲げる 4 つの柱》

- (1) 豊かな自然と歴史を誇れるまちづくり
- (2) みんなが安心して暮らせるまちづくり
- (3) チャンスを活かすたくましいまちづくり
- (4) 町民と行政の協働により築くオリジナルのまちづくり

(予算額)

一般会計の総額は、62億7,300万円とし、前年度に比べ14億8,600万円の増、率にして31.0%の増としました。

前年度当初予算に比べて大きく伸びた要因としては、本町が長年切望してきた町内の大字岡屋地先において、(仮称) 竜王岡屋工業団地の整備に向けた事業(設計業務委託料および工事請負費等を中心に平成25年度当初予算計上額 約15億円程度)に着手することから、これに係る予算を計上したことによるものです。

平成25年度の歳入については、固定資産税について、土地および家屋における評価替え、および企業の設備投資が引き続き低調な状況となっていることによる償却資産の減等税収減となった一方で、平成24年度決算見込みにおいて法人町民税が大きく伸びることとなったことに加えて、景気回復に向けた緩やかな持ち直し傾向が続くことが期待されることから平成24年度決算見込み程度の著しい伸びは見込めないものの、企業の業績とともに法人町民税が回復しつつあること、また個人町民税については概ね横ばいとして、町税全体では収入増を見込んでおります。ただ、他方、国の交付税制度の改正による影響も受けつつ平成25年度における普通交付税が4年振りに不交付となり、臨時財政対策債についても発行可能額が算出できない(合計で約7億3,000万円の減)ことが見込まれるところです。

このような中で、歳出においては、事業の選択と真に住民が求める施策への集中を図りつつ、平成25年度に実施3年目(前期基本計画(平成23年度~平成27年度)の中間年)を迎える第五次竜王町総合計画における“まちづくりを担う人”に焦点を当てた目標の実現に向けて、引き続き“人”への投資を政策の基軸として捉え、

教育環境の充実、子育て環境の充実等に取り組むことに加えて、災害時における町指定避難所での初期の電力需要を見据えた再生可能エネルギー設備の導入、滋賀県および滋賀県土地開発公社と連携し、かねてより本町の念願でもありました（仮称）竜王岡屋工業団地の整備に係る事業および若者定住に向けた魅力ある施策を実施することといたしました。また、公共施設等の老朽化による更新・修繕についても引き続き取り組むこととし、所要の更新経費について併せて計上することとした上で、不足が見込まれるその財源の一部を基金の取り崩しにより補てんしつつ、一般会計総額で前年度に比べて31.0%の増とする予算としたものです。

[歳入]

- ・固定資産税が1億2,916万7千円（7.6%）の減とした一方で、景気の下振れリスクは依然存在するものの、法人町民税は一部の企業において業績回復が見込まれることから、**町税全体**として9,973万3千円（3.4%）の増としました。
- ・**地方譲与税**については、総務省推計値および直近数年間の歳入傾向等を踏まえ、2.2%の増としました。
- ・**地方消費税交付金等**の県税交付金については、総務省推計値および直近数年間の歳入傾向等を踏まえ、総じて1.5%の増としました。
- ・**地方交付税**は、平成24年度の法人町民税の大幅な伸びを受けて基準財政収入額の増加が見込まれることにより、4年ぶりに普通交付税が不交付となる見込みとなったことから9,600万円（76.2%）の減としました。
- ・**国庫支出金**および**諸収入**については、（仮称）竜王岡屋工業団地整備に係る事業分を計上したこと等により6億2,609万9千円（185.7%）および9億1,377万8千円（1,609.0%）のそれぞれ増としました。
- ・普通交付税および臨時財政対策債が皆減となること等による財源不足額を補てんするための**財政調整基金繰入金**は2億1,397万円（84.9%）の増としました。
- ・**町債**は、普通交付税算定における基準財政収入額の増に伴い臨時財政対策債発行可能額の算出が見込めないとの予測から、3億550万円（82.5%）の減としました。

[歳出]

- ・**議会費**は、本町の多様な行政課題に対する議員としての知見の向上を図るべく、各委員会の所管事務調査として議員研修事業を引き続き計上したものの、議員共済会負担金の減により2.3%減少しました。

- ・ **総務費**は、交通安全施設等維持修繕費、固定資産評価替調査業務、地籍調査事業費および公用自動車購入等について増加したものの、篠原駅周辺都市基盤整備事業負担金の減および住民税税法改正システム対応業務、収納システム改修業務の減少等により0.9%減少しました。
- ・ **民生費**は、障害者施設整備等事業が減少したものの、子ども・子育て支援事業計画策定業務、高齢者保健福祉計画作成業務が新設および介護施設等開設準備経費補助金が追加されたことに加えて、居宅介護支援者事業、児童福祉施設（保育所）整備に係る水道事業負担金、低年齢児保育保育士等特別配置事業、自立支援給付費が増加したこと等により0.6%増加しました。
- ・ **衛生費**は、水道事業補助金が減少したものの、公共施設再生可能エネルギー等導入事業の新設等により8.9%増加しました。
- ・ **労働費**は、シルバー人材センター補助金が減少したものの、勤労福祉会館の改修に係る設計業務委託料の追加により10.1%増加しました。
- ・ **農林水産業費**は、国営造成施設管理体制整備促進事業負担金が増加することに加えて、有害鳥獣駆除事業において有害鳥獣駆除防護柵設置補助金が増となるものの、農業振興地域整備計画策定事業において町農業振興地域整備計画の見直し、変更に係る業務および農地流動化等推進対策事業における農地集債協力助成金が減となること等により8.2%減少しました。
- ・ **土木費**は、総合運動公園管理費において指定管理料が微減となったものの、引き続き町道改良工事を計上したと併せて、町内の橋梁改修に係る工事費を追加したこと、また、（仮称）竜王岡屋工業団地の整備に係る事業費を計上したこと等により282.4%の大幅な増加となりました。
- ・ **商工費**は、商工振興対策事業におけるプレミアム商品券発行事業補助金について減とするものの、第五次竜王町総合計画における定住人口の増および若者定住の実現に向けて、また町内企業における地域経済の活性化に向けて定住促進住宅リフォーム助成事業を新設したことにより27.2%増加しました。
- ・ **消防費**は、高速自動車国道救急業務支弁金および消防自動車整備事業における積載車の更新等により増加するものの、消火栓の設置等に係る負担金の減少により5.0%減少しました。
- ・ **教育費**は、緊急雇用制度を活用した臨時職員雇用に係る臨時職員賃金等、竜王小学校駐車場整備工事、竜王西小学校放送設備修繕工事および竜王幼稚園遊戯室天窓改修工事を計上したこと、また、少人数学級化実施のための町単独費による小中学校への嘱託講師（4名）の配置等により0.6%増加しました。
- ・ **公債費**は、歳入歳出の見直しおよび継続的な繰上償還の実施により6.9%減少しました。

(主な事業)

◆第五次竜王町総合計画におけるまちづくりの考え方（基本理念）に基づいて分類

「豊かな自然と歴史を誇れるまちづくり」

- ・【新】公共施設再生可能エネルギー導入事業 4, 215万4千円
竜王中学校体育館へのソーラーパネルおよび蓄電池等の設備整備
- ・河川総務費・一般管理費 918万3千円
河川愛護作業に係る補助金
- ・文化財調査事業 2, 555万3千円
文化財確認調査業務に係る委託料

「みんなが安心して暮せるまちづくり」

- ・【新】介護保険事業計画等作成事業 392万3千円
高齢者保健福祉計画策定業務の委託（H25年度：ニーズ調査）
- ・【新】育成医療・養育医療給付事業 44万2千円
障がい児に対する自立支援医療費の支給および養育を行う必要のある
子どもに対する医療の給付
- ・【新】子ども・子育て支援事業計画策定事業 322万5千円
子ども・子育て支援事業計画策定業務の委託（H25年度：ニーズ調査）
- ・【新】小中学校児童生徒生きる力育成事業 447万円
小中学校に生きる力支援員を配置（H24年度補正予算から対応）
- ・国保特別会計（事業勘定）繰出金 4, 847万7千円
国保特別会計（事業勘定）に対する繰出金
- ・交通安全施設等維持修繕費 333万8千円
道路照明灯他灯具交換・カーブミラー等修繕
- ・防災計画策定事業 1, 019万7千円
地域防災計画見直し業務の委託
- ・小型動力ポンプ整備事業 190万円
老朽化している小型動力ポンプの更新
- ・消火栓設置事業 311万7千円
消火栓設置工事負担金
- ・後期高齢者健診事業 131万6千円
後期高齢者健診委託料等
- ・低年齢児保育保育士等特別配置事業 600万円
1・2歳児保育保育士特別加配に加えて3歳児特別配置事業を追加

- ・児童福祉施設（保育所）整備事業 9 2 4 万 4 千円
児童福祉施設整備に伴う水道工事負担金
- ・道路橋梁維持補修費 3, 6 7 3 万 4 千円
橋梁の維持修繕に係る工事請負費を追加
- ・小学校管理費および中学校管理運営費（内数） 1, 2 9 3 万 5 千円
少人数学級化実施のため、町単独費による嘱託講師（小学校3名（うち
1名新規）および中学校1名）の配置
- ・竜王西小学校施設整備事業 2 1 0 万円
校内放送設備の改修工事
- ・竜王小学校施設整備事業 3 7 9 万 5 千円
校内駐車場の整備工事

「チャンスを活かすたくましいまちづくり」

- ・【新】定住促進住宅リフォーム助成事業 1, 0 0 0 万円
若者定住促進等のための住宅リフォーム助成事業
- ・【新】竜王インター周辺地区整備事業 1 5 億 0, 5 9 0 万 8 千円
竜王インターを核にした周辺地区の交通拠点、工業団地や物流拠点への
アクセス道路の整備等
- ・【新】外国語能力強化地域形成事業 4 5 万 6 千円
生徒の英語活用機会の拡大、英語学習に対する関心・意欲等の向上
（平成24年度補正予算から対応）
- ・定住化促進事業 2 4 0 万円
竜王町総合庁舎周辺地区定住化促進業務の委託
- ・篠原駅周辺都市基盤整備事業 1, 5 8 3 万 3 千円
国の交付金を活用し具体的な事業に着手
- ・中学生海外派遣研修事業 2 5 9 万 2 千円
中学生を中心とした使節団の米国スーセイ・マリー市への派遣

「町民と行政との協働により築くオリジナルのまちづくり」

- ・【新】スーセイ・マリー市友好親善使節団受入事業 1 3 8 万 1 千円
スーセイ・マリー市からの友好親善使節団の受入
- ・【新】ふるさと竜王夏まつり事業 2 5 0 万円
ふるさと竜王夏まつり実行委員会への補助

- ・【新】小学生地域間交流受入事業 66万6千円
福島県新地町の小学生を当町に招待して交流
- ・【新】コミュニティ・スクール推進事業 30万円
学校運営協議会規則の制定・学校運営協議会の設置等（平成24年度
補正予算から対応）
- ・【新】人権教育総合推進事業 24万円
学校、家庭、地域社会が一体となった人権教育の推進
- ・まちづくり活動支援事業 100万円
まちづくり活動に対する補助
- ・コミュニティ支援事業 30万円
各地域における地域力の向上に向けた地域コミュニティ計画の策定

「その他」

- ・【新】公図閲覧システム導入事業 333万5千円
公図閲覧システム導入委託料（H24年度補正予算から対応）
- ・【新】参議院議員選挙費 850万円
参議院議員選挙経費
- ・議員研修事業 150万3千円
各委員会の所管事務調査
- ・地籍調査事業費 688万3千円
地籍調査測量業務の委託等
- ・固定資産評価替調査事業 782万4千円
固定資産評価替調査業務の委託等
- ・勤労福祉会館管理費 310万9千円
勤労福祉会館の維持管理に係る経費